

病気に向き合うとき 闘病記文庫を

自分自身や家族などが病気になったとき貴重な情報源となるのが、病気と闘った方の手記「闘病記」です。同じ病気と向き合うために、その経過を知って治療法選択のヒントを得ることができたり、病人の心を理解し、寄り添うこともできます。

大山町立図書館本館に「闘病記文庫」を設置して5年目になりました。「がん腫瘍関係」10分類、「脳神経関係」8分類、「その他の疾病」18分類、「関連資料」に分けて、現在約220冊の本をそろえています。

この「闘病記文庫」の近くには「医療情報」の書棚もあります。体や病気について、自分で調べ、判断し、病気とどう向き合って生きていくのか――。

本館「闘病記文庫」の本は、分館からも予約できます。どうぞご利用ください。



医療・健康の書架

12月の図書館行事

大山分館
 12月14日(土)
 19:00~20:00
 『ほっこりあったか
 ふゆのおはなし会』

司書おすすめの本

『闘病記専門書店の店主が、
 がんになって考えたこと』

星野史雄 著 産経新聞出版 発行



闘病記文庫の一冊です。妻の病気とその死によって、闘病記を集めて古書店を開いたという著者の、自分もがんになったという体験が述べられています。内容は、長い書名そのものです。

病気が日常生活にもたらすものについて、そして生きることの意味について、改めて考えるきっかけにもなる本です。(ふ)

図書館 のご案内

一般・文学

- ★オレたち花のバブル組/池井戸潤
- ★高砂/宇江佐真理
- ★あなたにつながる記憶のすべて/小手鞠るい
- ★遺産/笹本稜平
- ★ゼツメツ少年/重松清
- ★さわらびの譜/葉室麟
- ★ユニコーン/原田マハ
- ★黒田官兵衛その生涯/不破俊輔
- ★とっぴんぱらりの風太郎/万城目学
- ★昼田とハッコウ/山崎ナオコラ
- ★スナックちどり/よしもとばなな
- ★仕事休んでうつ地獄に行ってきた/丸岡いずみ

その他

- ★個人情報ダダ漏れです!/岡嶋祐志
- ★レンズが撮らえた150年前の日本/小沢健志
- ★液晶画面に吸いこまれる子どもたち/下田博次
- ★おしゃれな和の年賀状/日賀出版社編
- ★謎だらけの日本語/日本経済新聞社編

地域資料

- ★4年間女子大学生に書き送った160通の手紙/小林一彦
- ★瞬matataku/柄木孝志

児童書・絵本

- ★特別授業“死”について話そう/伊沢正名ほか
- ★せかいでいちばん大きなおいも/二宮由紀子
- ★ガンたちとともに/イレーヌ グリーンスタイン